

奈良

奈良支局

〒630-8001
奈良市法華寺町141-1
☎(代)0742-34-1101
FAX 34-1103

ホームページ
<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/nara/>

橿原支局

〒634-0063
橿原市久米町652-2
橿原市商工経済会館2F
☎0744-28-6388
FAX 28-6399

通信部

大和高田
0745-55-7988
桜井 0745-87-3250
五條 0747(下市局)・
52-7611
大和郡山
0743-56-1812
生駒 0743-75-2503

広告のご用は
☎0742-33-5487
読売旅行は
☎0742-26-5555

連合広域西関

不参加に批判の声

県政出前トークで市民

県政の課題について県民に説明する「なら県政出前トーク」が18日、奈良市内で開かれ、地方分権の推進を目指す市民団体「関西州ねっとわーくの会」のメンバー12人が参加。県政策推進課の職員2人が、今月発足した関西広域連合に近畿で唯一参加しなかった理由を説明した。

関西広域連合を巡るトークは2度目。県職員は、「関西広域連合は府県に屋上屋を架す組織で、多額の経費がかかる」と課題を挙げ、「ドクターヘリや災害時の応援は従来の協定で対応できる」とする荒井知事の考えを示した。

参加者は、広域連合が今後、関西全体の防災や救急医療に関する計画を策定することを指摘。「奈良だけ加わらないと、非常時に孤立するのは」「7府県が連携して地方分権を進める

中、不参加は時代に逆行」などの発言が続いた。

同会の高松義直代表は「奈良市民としても、関西都市圏の一面を担う奈良県が、広域連合に参加しないのは理解できない」と話し、会として講演会などを通じて広域連合の重要性をアピールしていくという。

東大寺シンポジウムで始まる

東大寺(奈良市)の歴史などについて、講演や討論を行う「ザ・グレイトブツダ・シンポジウム」(東大寺、社団法人大仏奉賛会主催)が18日、同寺総合文化センターで始まった。

今年、大仏を建立した聖武天皇の妃で、今年1300年の遠忌を迎えた光明皇后(701-760)がテーマ。元宮内庁正倉院事務所長の米田雄介さんは、

光明皇后が藤原氏出身だった点に触れ、「当時は皇后が天皇の政治の補佐役も担った。そのため兄たちが光明皇后に藤原一族の繁栄を託したのだから」と解説。